

2026 年 9 月 3 日

テスコ株式会社

世界自然遺産の島・屋久島の自然環境保全を支える

屋久島町クリーンサポートセンター 新ごみ処理施設が竣工

～屋久島の自然環境と暮らしを守る、環境配慮型のごみ処理施設～

テスコ株式会社（代表取締役：高橋博文、本社：東京都千代田区、以下「当社」）は、屋久島町から受注した「屋久島町エネルギー回収型廃棄物処理施設建設工事」（以下「本事業」）において、屋久島町クリーンサポートセンター 新ごみ処理施設を竣工しましたので、お知らせします。

記

本事業は、既存の炭化・電気溶融施設の老朽化に伴い、当社が同敷地内に新たな一般廃棄物処理施設を設計・建設したものです。世界自然遺産の島・屋久島において、地域から排出される一般廃棄物を適正かつ安定的に処理することで、日々の暮らしを支えるとともに、生活環境と豊かな自然環境の保全に寄与します。本施設が、屋久島の自然と暮らしを未来へ引き継ぐ持続可能な地域づくりの基盤となることを目指しています。



施設外観（写真中央部：新ごみ処理施設、写真左下：段ボール処理棟・発泡スチロール処理棟）

本施設では、処理方式を従来の炭化方式からストーカ式焼却炉へ変更。排ガス処理は屋久島の自然環境に配慮した、厳しい基準をクリア。一般的なる過式集じん器に加えて、排ガス中の窒素酸化物とダイオキシン類を触媒で分解する脱硝触媒方式を採用しました。

建設地は、従来からの炭化・電気溶融施設、リサイクル施設および最終処分場が三方に位置する限られた敷地でしたが、設備配置を工夫することでコンパクトな新施設を整備しました。室内の腰壁には屋久島町産の地杉を採用し、地域産材を取り入れた内装としています。



左:焼却炉内部写真、右:屋久島町長から受領した感謝状

当社は 1970 年代に関東地区にてごみ処理施設の運転管理を受託して以降、民間委託のパイオニアとして全国 150 箇所を超える環境施設の管理業務を受託してまいりました。2013 年にはごみ処理施設の新設・基幹的設備改良工事事業に参入。これまで培ってきた実績と技術的知見を生かし、「使う立場に立った機能的な施設造り」を信念に、地域の衛生維持と環境保全に資するごみ処理施設の建設・運営を推進してまいります。

事業概要

事業名称	屋久島町エネルギー回収型廃棄物処理施設建設工事
所在地	鹿児島県熊毛郡屋久島町大字宮之浦 1312-21
発注者	屋久島町
受注者	テスコ株式会社
処理方式	准連続式ストーカ式焼却炉
処理能力	10t/12h (1 炉)
排ガス処理方式	乾式 (消石灰・活性炭混合薬剤吹込＋ろ過式集じん器)、脱硝触媒
付帯設備	発泡スチロール処理棟・段ボール処理棟・カレットヤード
竣工日	2026 年 3 月 31 日

以上